

I 実践

1 研究主題

誰に対しても思いやりの心を持ち、助け合い、粘り強くやり遂げる児童の育成

(1) 主題設定の理由

本校は、「心豊かに健やかで、たくましく行動できる児童を育てるーかしこく・やさしく・たくましくー」を教育目標としている。それを受け、人権教育の視点から、「誰に対しても思いやりの心を持ち、皆と仲良くできる子を育てる」「仲良く助け合い、粘り強くやり遂げる子を育てる」の2点を掲げて取り組んできた。

本校の児童の多くは、活発で明るく素直であり、友達と協力しながら活動できる。しかし、自分勝手な行動や相手を思いやることのできない言動をとり、周囲とトラブルになる場面が見られることもある。また、家庭環境によって、基本的生活習慣の定着や道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの個人差も見られる。

そこで、学校教育活動全体を通して、一人一人が相手の立場を思いやる心や助け合う心の育成を図り、『自分の大切さ・他の人の大切さをお互いに認めること』ができる児童を育成したいと考え、本主題を設定した。

(2) 研究の内容

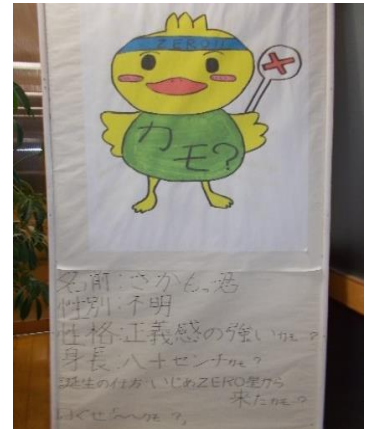
- ア 人権意識を高めることのできる環境づくり
- イ 豊かな心を育む体験活動の充実

2 実践内容

(1) 人権意識を高めることのできる環境づくり

ア いじめZERO集会

6月26日(月)に、坂本委員会の児童が中心となり、全校児童で、いじめについて考える集会を開いた。まず、毎月実施している全校児童を対象としたいじめについてのアンケート結果を発表し、いじめZEROを目指す意欲を高めた。次に、いじめに関するお話を紹介し、いじめられた子の立場を深く理解する場を設定し、相手を思いやる心情を高めた。その後、「さかもと」を頭文字にしたスローガンや、ゆるキャラ「さかもつ君」を紹介し、いじめZEROに全校で取り組む体制を確認した。集会の後は、各学級で「されたいやなこと かんがえよう もっと ともちと楽しい学校生活」のスローガンを確認し、児童一人一人がいじめZEROに対して向き合う機会とした。



イ 人権教育に関するビデオの視聴と人権メッセージ作成

2学期には各クラスで人権教育に関するビデオを視聴し、全員が人権メッセージを作成した。作成した人権メッセージは人権啓発推進センター主催の「人権についてかんがえてみませんかーあなたの思い・わたしの思いー」に代表作品を応募した。

(2) 豊かな心を育む体験活動の充実

ア さわやかマナーアップ週間 ～あいさつ運動～

「場に応じたあいさつがきちんとできる、坂本の子」の実現を目指して毎月「あいさつ運動」を展開している。気持ちのよいあいさつができるようにすると共に、あいさつを通して、好ましい人間関係をつくることをねらいとしている。毎月、担当学年の学級が、晴れの日正門前で、雨の日昇降口付近で、7:45～8:00まで、朝のあいさつを呼びかけた。さらに、11月には、幼小中連携として、南高野幼稚園、坂本中学校、交通安全母の会、PTA生活指導委員会、保護者など地域合同による朝のあいさつ運動を実施した。

イ 地域高齢者との交流

10月19日（木）には、4年生の児童が、地域の高齢者とふれあったり会食をしたりする「ふれあいサロン」（坂下地区地域福祉局との共催）を実施した。坂本地区に住む一人暮らしの高齢者の方々を招いて、音楽やダンスを発表したり、一緒にゲームや会食をしたりして楽しく交流することができた。また、移動する際に手を差し伸べるなど、高齢者の方々に優しい心で接する児童の姿を見ることができた。

ウ 4年生福祉体験

4年生は総合的な学習の時間に、「共に生きる～よりよい坂本をめざして～」という福祉をテーマにした学習を行っている。そこで、福祉体験として、車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験を10月3日（火）、日立市社会福祉協議会の協力を得て行った。実際の体験から、車いすで動くことの大変さや、高齢者の方が日常生活の中で感じている不自由さを知ることができた。高齢者や体の不自由な人達に対して、どのように接したらいいか、普段の生活で自分たちにできることはないかなどを考えることができた。



高齢者疑似体験

3 成果

- ・ 「いじめZERO集会」や「人権メッセージの作成」を通して、「相手が嫌がることや傷つくことはしてはいけない」「相手の立場に立って考える」「思いやりの心をもって接する」など児童一人一人が人権問題について真剣に考えたことで、人権問題に対する意識の高まりにつながった。
- ・ 学校や地域で行う行事や地域の方々との体験を通して、相手を思いやる気持ちが少しずつ育ってきている。また、学習・生活全般を通して、友達を思いやって行動したり、友達に気遣ってもらうことで友達の良さや自分の良さを発見したりすることができ、自尊心の高まりが見られるなど児童同士の関わり合いの中で、豊かな心が育ってきている。

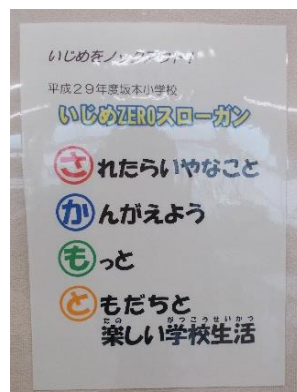
II 今後の課題

人権とは何なのか、どういうものなのか、人権についての基本的な知識を学び、自分や他の人を大切にできるよう、学校教育の様々な場面において人権について考える場や体験活動を意図的に設け、一人一人の人権感覚を高めていきたい。また、児童の教育に携わる私たち教師自身が積極的に校外の研修会に参加したり、校内で研修会を開いたりして、人権感覚を身に付けていく必要がある。そして、日々の学校生活や授業を通して、身近な例を挙げながら、人としての生き方や人と関わる楽しさや良さを子供たちに伝えていきたい。さらに、学校だけでなく、家庭・地域への人権に関する啓発活動も推進していきたい。

III 人権コーナーの設置の様子



人権コーナー（昇降口横）



いじめZEROスローガン（各学級教室）